

8 共同利用・協同観測・研究交流

8.1 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 共同利用

公開期間: 4月9日–8月3日、9月10日–12月14日 (約7ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計62日間

利用者 (実施順):

花岡 庸一郎 (国立天文台) 計10日間

「 $H\alpha$ など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

野澤 恵ほか (茨城大) 計5日間

「茨城大学 太陽分光観測実習」(教育実習枠)

笠羽 康正、坂野井 健 (東北大) ほか 計7日間

「金環日食・金星日面通過を用いた月・金星ナトリウム大気成分の検出」

三浦 則明、宮崎 順一 (北見工業大学)、馬場 直志 (北海道大学) 計21日間

「上空大気ゆらぎ層の高さの測定および multi-conjugate センシング実験」

「multi-conjugate 補償光学実験」

竹田 洋一 (国立天文台) 5日間

「スペクトル線強度の太陽面中心 - 周縁変化の観測に基づく

NLTE 線形成理論の検証」

横山 央明ほか (東京大) 計4日間

「東京大学 地球惑星物理観測実習」(教育実習枠)

坂江 隆志ほか (浦和西高校) 計5日間

「飛騨天文台 DST を用いた自作太陽分光器多波長スペクトロヘリオグラフの

性能評価 (太陽活動領域の2次元分光観測と月の岩石・大気による吸収の検出)」

野澤 恵、大川 明弘 ほか (茨城大) 計5日間

「太陽黒点における振動現象の解析」

8.2 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 国際・国内協同観測

(のべ12日)

8月13日–8月24日

”Cooperative Observations between Hida & Hinode”

with HINODE (HOP0128)